

< 認知症対応型共同生活介護用 >

評価結果報告書**地域密着型サービスの外部評価項目構成**

理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を实践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を实践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	4670400219
法人名	医療法人 二三和会
事業所名	グループホームわかば
訪問調査日	平成19年10月4日
評価確定日	平成19年12月27日
評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載します。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入します。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけます。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容について記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	鹿児島県 第4670400219号
法人名	医療法人 二三和会
事業所名	グループ・ホームわかば
所在地	鹿児島県枕崎市若葉町85番地 (電話) 0993-73-5101

評価機関名	特定非常利活動法人NPOさつま		
所在地	鹿児島市下荒田2丁目48番~13号		
訪問調査日	平成19年10月4日	評価確定日	平成19年12月27日

【情報提供票より】(19年 8月 20日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 16年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	7 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 3.3

(2)建物概要

建物構造	軽量鉄骨 造り
	1 階建ての 1 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,500 円	その他の経費(月額)	光熱費(1日250円)	
敷金	無		乾燥機(1回100円)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	350 円
	夕食	300 円	おやつ	実費 円
	または1日当たり		850 円	

(4)利用者の概要(8月 20日現在)

利用者人数	9 名	男性	名	女性	9 名
要介護1	1 名	要介護2		要介護3	2 名
要介護3	5 名	要介護4		要介護5	1 名
要介護5	名	要支援2		要支援1	名
年齢	平均 87.8 歳	最低	79 歳	最高	97 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	尾辻病院 草野歯科 サザンケアセンター 南方園
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

小高い丘陵に開かれた住宅団地の中に、周りの住宅と違和感なく建っているホームであり、地域との交流も日常的になされている。管理者や職員は運営者と運営内容について、利用者中心の立場で協議をし、サービスの細かな点まで取り組みを進めている。また、管理者はじめ職員は「ともかく仲の良いのが、私たちの特徴・誇りです。」と話すように、協力し合いながら入居者の生活向上に取り組んでいる。医療連携も密で、健康管理には配慮が行き届いており、家族も安心している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	運営理念を地域へ普及啓発すること、注意の必要な物品の保管場所・管理方法を明確に取り決めること、また市町村との連携を密にとることなど課題が改善されている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価について、運営者・管理者・職員で話し合い、意義を理解し、評価に前向きに取り組む、サービスの質の向上に努めている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議を定期的開催し、地区住民代表や入居者家族代表等からの意見や要望をしっかりと受け止め、サービス向上に活かしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	来訪時や行事参加の折りに意見や要望を聞くように配慮し、又意見箱を設けたり苦情相談ノートを設けて、出された要望等はミーティングで話し合い運営に反映している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入し、町内会の行事に参加したり、朝夕の挨拶や近所の子供達が遊びに立ち寄ったり、又保育園の子供達のボランティア等を受入れて交流している。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホームの意義と役割、地域との関わりを重視した理念を職員と一緒に作成し、日々のケアに活かしている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をホールやトイレに明示している。ミーティング時には話し合い共有しながら理念に沿ったケアを実践している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入している。町内会の行事に参加したり、朝夕の挨拶や近所の子供達が遊びに立ち寄ったり、又保育園の子供達のボランティア等を受入れて交流している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価について、運営者・管理者・職員で話し合い、意義を理解し、評価に前向きに取り組み、サービスの質の向上に努めている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、定期的開催されている。地区住民代表や入居者家族代表等の参加があり、事業所の取り組み内容等報告し、意見や要望を受けサービス向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホーム便りを定期的に届けたり事業所の課題などを担当者に相談し、助言等を貰い、協力関係を築いている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時にホーム便りを渡し、日々の状況や暮らしぶり、行事の様子等を報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居時に相談窓口を重要事項説明書で説明している。来訪時や行事参加の折りに意見や要望を聞くように配慮している。又意見箱を設けたり苦情相談ノートを設けて、出された要望等はミーティングで話し合い運営に反映している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員異動はあまりない。個別担当制でなく、全スタッフが全ての入居者を介助して馴染みの関係ができているため、入居者のダメージ予防になっている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	段階に応じた研修に交替で参加している。復命研修も行われており、月1回の勉強会等も実施されて職員が目標を持って働き続けられる環境整備に努めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホームの職員との交流や情報交換を行っている。他施設の勉強会や講演会に出席できるように勤務体制を組み替える等の取り組みをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望者に対して馴染みながらの関係作りや信頼関係を築く事に対する方法や手順が明らかでない。		環境変化がもたらすマイナス要因を認識し、本人との関係作りや関わり方に工夫をした取り組みを期待したい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	季節毎の行事や、昔から食している食材の料理法等教わりながら支え合い、良好な関係を築いている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中で一人ひとりの表情や言動を観察して、思いや意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアプランの手順を踏まえて家族、主治医などの意見を活かした本人本位の介護計画を作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画に基づいて定期的見直しと、月1回の担当者会議を行い見直しと評価を行っている。状態変化の折にはその都度見直しをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	24時間医療連携を取っている。又家族の状況に応じて病院受診や外出など必要な支援を柔軟に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	法人の主治医だけでなく、家族と相談して納得したかかりつけ医への受診の支援をしている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に重度化や終末期について本人、家族にホームの指針を説明し、最善の対応が出来るように取り組んでいる。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員に対しては、個人情報に関する誓約書も有り、入居者の尊厳を大切に、穏やかな声かけやゆったりとした態度で対応している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日のおおまかなスケジュールはあるが、1人ひとりの体調に合わせて、状態や思いに配慮しながら入居者のペースで生活できるよう支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日常的にその人のできる事、得意なことをしてもらいながら職員も一緒に食事している。誕生日や祝い膳等は、入居者の希望を聞きながら取り入れている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者全員入浴介助を必要としているが、入浴日は決められていない。入居者の希望に応じられるよう努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の趣味やできる事を把握し、調理の手伝い、洗濯物たたみ等得意な事に力を発揮してもらい、新聞や本の購読、買い物、ドライブ、散歩を楽しんでいる。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買い物等ホームに閉じこもらない工夫をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	管理者、職員は鍵をかけないケアの重要性を認識し、日中は施錠していない。入居者、来訪者、近所の子供達の出入りも疎外しないようにしている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力のもと年2回の防災訓練と救命救急訓練を行っている。地域の住民との協力体制や訓練の参加等の呼びかけは検討段階である。		災害時に住民の協力が得られるように運営推進会議や町内会などで検討しながら、災害時の訓練や支援に向けた地域住民との協力関係を築いていく取り組みが期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1人ひとりの水分量、食事量を把握している。協力病院の栄養士に献立についてアドバイスを貰いながら、栄養バランスに配慮し不足する分はゼリー等で補っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔で明るい共用空間作りである。日差しはカーテンで調整しホールや玄関には季節の生花や行事ごとのパッチワークが飾られて居心地良く過ごせる工夫をしている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	椅子、タンス、テーブル、植木鉢、ぬいぐるみ等持ち込まれているが、個性が伺えず本人が落ち着いて過ごせるベースとしての配慮が足りない。		自宅との環境のギャップを感じさせない居室作りの工夫が求められる。